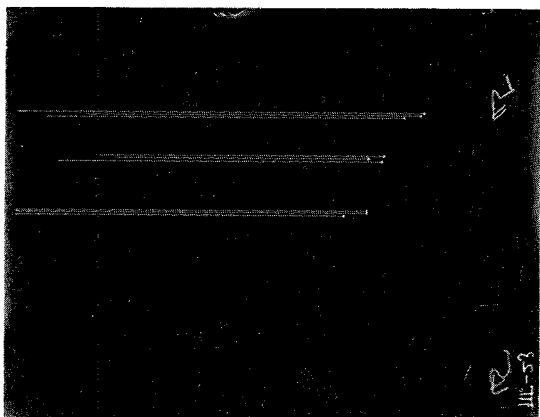


## 写真集にのらない天体写真 (2)

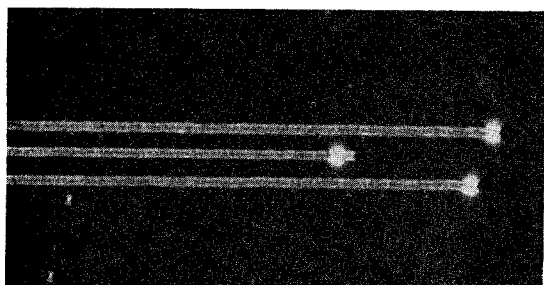
### シンチレーション・テストの写真

東京天文台あたりの観測のベテランならこの写真に心当りの人も少なくないと思う。20年前、74インチ鏡の設置場所を選ぶため1年間にわたり撮影した、北極星のシンチレーション記録の1枚である。

これを撮した器械は口径 10 cm 焦点距離 150 cm の



(a) 1955年1月20日 岡山県遙照山



(b) 同拡大 3 回露出してある

とくべつ重く作った屈折望遠鏡である。それを北極星に向けてしっかり固定する。レンズの直径にそって幅 3 cm の遮光板をあてて開口を2分し、焦点からすこし離れたところで星像が2つできるようにしてある。その2つがシンチレーションのために近づいたり離れたたり上下左右にそろって動いたりする。それを毎分 80 mm の速さで横に動いていく乾板で撮影して、写真のようにジグザグの2本の線をかかせ、シンチレーションの程度を調べている。

観測の行われた3つの候補地の静岡県粟ガ嶽、長野県杖突峠、岡山県遙照山はどこも眺望絶佳で大気清澄は良いのだが、人里離れて物淋しく不便な場所であった。毎月10日におよぶ観測期間中、出張した観測者はだれでも望京の思いに悩んだらしい。そういう話が1956年8月の天文月報に残っている。

同じ試験は堂平・木曾両観測所を選ぶときにも行われた。そのたびに古い乾板がひっぱりだされ、慎重に比較された。原板はまとめて三鷹26インチ赤道儀室の乾板棚に整理してあって、いまでもすぐ取りだせる。

### ◇ 2月の天文暦 ◇

日時	記	事
2 19	土星 衝	
4 8	立春 (太陽黄経 315°)	
13	望	
11 13	下弦	
13	月 最近	
15 7	天王星 留	
18 13	朔	
19 4	雨水 (太陽黄経 330°)	
25 12	月 最遠	
26 12	上弦	

